

SilkPerformer 2011

インストールヘルプ

Borland[®]
(A MICRO FOCUS COMPANY)

 **MICRO**[®]
FOCUS

Micro Focus
575 Anton Blvd., Suite 510
Costa Mesa, CA 92626

Copyright © Micro Focus IP Development Limited 2011. All rights reserved.
SilkPerformer は Borland Software Corporation に由来する成果物を含んでいます,
Copyright 2011 Borland Software Corporation (a Micro Focus company).

MICRO FOCUS, Micro Focus ロゴ、及びその他は Micro Focus IP Development Limited またはその米国、英国、その他の国に存在する子会社・関連会社の商標または登録商標です。

その他、記載の各名称は、各所有社の知的所有財産です。

目次

はじめに	4
システム要件と事前要件	4
パフォーマンスとスケーラビリティ マトリクス	5
インストール パッケージの内容	7
SilkPerformer のライセンス管理	8
SilkPerformer ライセンス ポリシーを生成する	8
ホスト ID を調べる	8
SilkMeter のインストール	8
以前のバージョンの SilkMeter をアンインストールする	9
ライセンス サーバー上へ SilkMeter をインストールする	9
SilkMeter ライセンス サーバーの構成	10
ライセンス サーバーの構成を変更する	10
SilkPerformer をインストールする	12
完全インストールする	12
エージェントのみをインストールする	13
SilkPerformer SOA Edition をインストールする	14
SilkPerformer サービス バック リリースへアップグレードする	16
SilkPerformer をアンインストールする	16
サイレント モードでインストールする	17
ShopIt V 6.0 をインストールする	17
Eclipse プラグインをインストールする	18
リモート コンピュータへのエージェント ソフトウェアのインストール	20
リモート インストール	20
エージェント ソフトウェアのインストールおよびアンインストールのためのオプション	20
平均インストール時間	21
シナリオ	21
シナリオ 1 : 1 つのドメインまたはワークグループ	22
シナリオ 2 : 2 つのドメインまたはワークグループ	22
シナリオ 3 : ユーザーがローカルにログオンする	23
シナリオ 4 : インターネットを利用して接続された 2 つの LAN	24
シナリオ 5 : HTTP プロキシを利用して接続された 2 つの LAN	24
シナリオ 6 : SOCKS プロキシを利用して接続された 2 つの LAN	25
トラブルシューティング	25

はじめに

このヘルプでは、SilkPerformer ソフトウェアをインストール/アンインストール、および、負荷テスト環境を準備をする際に必要な情報を提供します。事前にインストールが必要なハードウェアやソフトウェアの要件、および、インストールの代替オプションなどについても提供していきます。

SilkPerformer をインストールする前に **セットアップ** ウィザードは、SilkPerformer をインストールし利用するために必要なソフトウェアがすべてお使いのコンピュータ上に準備できているかを確認します。準備されていない場合、**セットアップ** ウィザードはそれらの欠けているソフトウェアをインストールするための選択肢を提示します。

SilkPerformer ソフトウェアは、3 通りの形でインストールすることができます。コントローラ コンピュータ上には、マルチマシン コントローラとエージェント ソフトウェアの両方をインストールすることができます。これには、ドキュメントとサンプル ファイルが同梱されています。エージェント コンピュータには、エージェント ソフトウェアのみ必要です。SilkPerformer で負荷テストを実行するには、最低 1 台のコントローラ コンピュータ上には、コントローラ ソフトウェアをインストールする必要があります。

このセクションでは、利用可能な各インストール タイプに対して、それぞれ必須または推奨されるインストール オプションについて説明します。

システム要件と事前要件

以下の表は、SilkPerformer をインストールおよび実行するための、システム要件を示したものです。SilkPerformer パフォーマンスとスケーラビリティについては、「パフォーマンスおよびスケーラビリティのマトリクス」を参照してください。

ハードウェア要件

SilkPerformer エージェント ソフトウェア、もしくは、コントローラとエージェントの両ソフトウェアを実行し、大規模負荷テストを実行するために SilkPerformer のポテンシャルを最大限に利用するには、お持ちのシステムが次の最低要件を満たしている必要があります。

表 1 : 負荷テスト

システム領域	要件
プロセッサ	Pentium IV もしくは同等の CPU
RAM	512 MB 推奨 (最小) 1 GB 推奨
仮想メモリ	RAM の 3 倍の仮想メモリ
ハードディスク領域	コントローラ ソフトウェア インストールに 650 MB エージェントのみをインストールする場合に 170 MB 行う負荷テストのサイズに応じて、その結果ファイルのための十分な空き容量がお使いのハードディスク上にあるかどうか確認してください。
ネットワーク	TCP/IP を伴う Windows ネットワーク (リモート SilkPerformer エージェント コンピュータを利用する場合)

システム領域	要件
ネットワークアダプタ	10 MBit 推奨 (最小) 高速 Ethernet 推奨

SilkPerformer の機能を、トラフィックの記録、スクリプティング、監視に使用する場合には、お使いのシステムが以下の最小要件を満たしている必要があります。

表 2 : 記録、スクリプティング、監視

システム領域	要件
プロセッサ	Pentium IV もしくは同等の CPU
RAM	256 MB
ハードディスク領域	440 MB
ネットワーク	TCP/IP

ソフトウェア要件

SilkPerformer をインストールし、実行するには、お持ちのシステムに、最小限のソフトウェア コンポーネント群が必要となります。

必要とされる個々のコンポーネントは、インストールの種類によって異なります。たとえば、SilkPerformer Java Explorer を実行するには、システムに Java Development Kit 1.4、1.5、1.6、1.7 のいずれかがインストールされていなければなりません。コンポーネントはそれぞれ該当するベンダーの Web サイトからダウンロードしてください。

- Microsoft .NET Framework 4.0
- Windows Internet Explorer (ブラウザ駆動型記録の場合)
- Adobe Acrobat Reader (ドキュメント参照のため)
- Citrix アプリケーションをテストするための Citrix XenApp クライアント 11、11.2、12.0 または Citrix Web インターフェイス 5.1、5.2、5.3
- Java Explorer で Java アプリケーションをテストするための Java Development Kit 1.4、1.5、1.6、1.7

パフォーマンスとスケーラビリティ マトリクス

表 3 : エージェント当たりの最大 仮想ユーザー数

システム構成	Web ビジネス アプリケーション	SSL による Web ビジネス アプリケーション (-35%)	Web 低レベル (+20%)	推奨 NIC 数
4xPIII, 1 GHz, 4 GB RAM	5,900	3,800	7,100	4
2xPIII, 1 GHz, 2 GB RAM	3,600	2,300	4,300	2
1xPIII, 1 GHz, 1 GB RAM	1,900	1,200	2,300	1
1xPIII, 1GHz, 512 MB RAM	800	500	1,000	1

システム構成	Web ビジネス アプリケーション	SSL による Web ビジネス アプリケーション (-35%)	Web 低レベル (+20%)	推奨 NIC 数
1xPIII, 600Mhz, 512 MB RAM	800	500	1,000	1
1xPIII, 600Mhz, 256 MB RAM	300	200	400	1

 **注:** Web ビジネス アプリケーションは、ページベースのブラウザレベル API (HTML/HTTP) を使用します。Web 低レベルは、ブラウザレベルの API (HTTP) を使用します。

テストパラメータ

上の表の数値は、以下のような特徴を持つ現実的なワークロードを使用して決定したものです。

- リクエストされる全 Web ページのページ構成は、一般的な公開 Web ページ相当とする。
- 仮想ユーザーのページ ビュー間の平均思考時間は 32 秒であった。
- 1 人の仮想ユーザーは、4 つ同時使用接続によってエミュレートされた。

つまり、シミュレートされる仮想ユーザー数は、1 つの一般的な Web サイトに同時にアクセスしている実際のユーザー数に相当し、次のような結果になります。

- ページあたりの平均ヒット数: 39
- 平均ページ サイズ: 130 KB
- ページ間の平均思考時間: 32 秒

公式

エージェント コンピュータあたりの最大仮想ユーザー数の推奨値は、公式 $\text{Web Business App.} = \text{Page-based Browser-level API}$ を使用して計算されたものです。これを現実的なワークロードにあてはめると、次のようになります。

- agentCpu - プロセッサ速度 (MHz) (100 以上であること)
- agentCpuCount - プロセッサ数
- agentRamMb - エージェントの RAM (MB) (64 より大きいこと)

```
cpuBound = 0;
if (agentCpu >= 100 && agentCpu < 200) cpuBound = 100;
if (agentCpu >= 200 && agentCpu < 300) cpuBound = 450;
if (agentCpu >= 300 && agentCpu < 400) cpuBound = 600;
if (agentCpu >= 400 && agentCpu < 500) cpuBound = 750;
if (agentCpu >= 500 && agentCpu < 600) cpuBound = 900;
if (agentCpu >= 600 && agentCpu < 800) cpuBound = 1200;
if (agentCpu >= 800 && agentCpu < 1000) cpuBound = 1500;
if (agentCpu >= 1000 && agentCpu < 1400) cpuBound = 2000;
if (agentCpu >= 1400) cpuBound = 2500;
```

```
ramBound = (agentRamMB-64) * 2.0;
agentCpuFactor = 1.0;
for (i = 2; i <= agentCpuCount; i++) agentCpuFactor += 0.8*(i-1);
```

$\text{MaxVuserPerAgent} = (\text{Minimum}(\text{ramBound}, \text{cpuBound} * \text{agentCPUFactor}) / 100) * 100$
 Formula for calculating the recommended maximum number of vusers per agent
 (relevant for realistic workload using Web Business App. = Page-level API):

サンプル

```
Quad 1000 Mhz P III, 4 GByte
maxVuserPerAgent = (Minimum((4096 - 64) * 2.0, 2000 * (1 + 0.8 +
```

```

0.64 +
0.512))/100)*100 = (Minimum(8064,5904)/100)*100 = 5900 Vusers

Dual 1000 Mhz P III, 2 GByte
maxVuserPerAgent = (Minimum((2048 - 64) * 2.0, 2000 * (1 + 0.8))/
100)*100 =
(Minimum(3968,3600)/100)*100 = 3600 Vusers

1000 Mhz P III, 1 GByte
maxVuserPerAgent = (Minimum((1024 - 64) * 2.0, 2000)/100)*100 =
(Minimum(1920,2000)/100)*100 = 1900 Vusers

1000 Mhz P III, 512 MByte
maxVuserPerAgent = (Minimum((512 - 64) * 2.0, 2000)/100)*100 =
(Minimum(896,2000)/100)*100 = 800 Vusers

600 Mhz PIII, 512 MByte
maxVuserPerAgent = (Minimum((512 - 64) * 2.0, 1200)/100)*100 =
(Minimum(896,1200)/100)*100 = 800 Vusers

600 Mhz PIII, 256 MByte
maxVuserPerAgent = (Minimum((256 - 64) * 2.0, 1200)/100)*100 =
(Minimum(384,1200)/100)*100 = 300 Vusers

```

インストールパッケージの内容

このトピックでは、インストール CD および Web パッケージに含まれているプログラムに関する概要を提供します。 SilkPerformer を完全インストールするためには、それらのプログラムが必要となります。 ユーザーは、**セットアップ** ウィザードを使用して、足りないプログラムをインストールすることができます。 コンポーネントを個別にインストールするには、以下で指定された場所から EXE ファイルを実行します。

ShopIt V 6.0

ShopIt V 6.0 サンプル Web アプリケーションを、次のフォルダからインストールします。

¥Extras¥ShopItV60.exe

SilkMeter

SilkMeter を、次のフォルダからインストールします。

¥SilkMeter¥SilkMeter.exe

このフォルダには、お使いのコンピュータに関する情報の取得を支援するプログラムも含まれています (smHostInfo.exe)。この情報は、SilkMeter ライセンスを取得するためにお客様がカスタム サポートにお問い合わせいただく際に必要となります

SilkPerformer のライセンス管理

このセクションでは、SilkPerformer のライセンス ポリシーの取得方法と、SilkMeter のインストール方法について説明します。SilkMeter をインストールするには、管理者権限を持っている必要があります。



注: SilkPerformer には、SilkMeter バージョン 2008 以降と SilkPerformer ライセンス ポリシーが必要となります。

SilkMeter のインストールは、ライセンス サーバー 1 つにつき 1 回です。複数のライセンス サーバーを持っている場合には、複数のライセンス ポリシー ファイルが必要となります。各ファイルは、それぞれ特定のライセンス サーバーに関連付けられています。1 つの SilkMeter ライセンス サーバーが、複数の製品のためのライセンス ポリシーを処理することができます。

SilkPerformer ライセンス ポリシーを既にお受け取りの場合には、そのライセンス ポリシーをライセンス サーバー上へインストールしてください。ライセンス ポリシーをまだ受け取っていない場合には、ライセンス ポリシーを生成します。

SilkPerformer ライセンス ポリシーを生成する

SilkPerformer を実行するには、ライセンス ポリシーが必要となります。ユーザーは、Online License Generator を使用して、ライセンス ポリシーを生成することができます。Online License Generator には、Firefox や Internet Explorer など、SSL 対応ブラウザが必要となります。ライセンス ポリシーの生成手順を電子メールで受信します。手順を受信しなかった場合は、<http://support.microfocus.com> より Customer Care にお問い合わせください。

ホスト ID を調べる

1. ライセンス サーバー上でコマンド プロンプトを開き、コマンド ipconfig/all を入力します。ライセンス サーバーが、接続アドレスを一覧表示します。
2. ホスト ID (お使いの LAN カードの MAC アドレス もしくは 物理アドレス) を確認してください (例: 00-BF-00-1C-D3-3D)。

SilkPerformer のためのライセンス ポリシーを取得するには、この情報を入力する必要があります。



ヒント: システムの設定によっては (仮想マシンや VPN 接続を含む)、複数の MAC アドレスをお持ちの場合もあります。実際の LAN カードのホスト ID であることを確認してください。

SilkMeter のインストール

SilkPerformer ライセンス ポリシーをお持ちの場合には、SilkMeter をインストールする際に、そのポリシーをインストールすることができます。SilkPerformer ライセンス ポリシーを取得するには、Online License Generator にアクセスして、ライセンス ポリシーを生成します。

SilkPerformer ライセンス ポリシーは、SilkMeter をライセンス サーバー上へインストールする時点で、必須というわけではありません。SilkMeter の **User Policy Administrator** を使用して、SilkPerformer ライセンス ポリシーを後からインポートすることも可能です。ただし、ライセンス ポリシーは SilkPerformer を実行する前にインポートする必要があります。

SilkMeter のインストールは、ライセンス サーバー 1 つにつき 1 回です。複数のライセンス サーバーを持っている場合には、複数のライセンス ポリシー ファイルが必要となります。各ファイルは、それぞれ特定のライセンス サーバーに関連付けられています。1 つの SilkMeter ライセンス サーバーが、複数の製品のためのライセンス ポリシーを処理することができます。

SilkMeter ライセンス サーバーの要件

SilkMeter をインストールする前に、*Release Notes* を参照して、お使いのライセンス サーバーが要件を満たしているか確認してください。

以前のバージョンの SilkMeter をアンインストールする

SilkMeter が既にライセンス サーバー上にインストールされている場合には、最新バージョンの SilkMeter をインストールする前に、それをアンインストールしなければなりません。

1. **スタート > プログラム > Silk > SilkMeter > Uninstall** を選択します。
2. **Yes** をクリックして、SilkMeter をアンインストールします。
Remove Settings ダイアログ ボックスが開きます。
3. **No** をクリックした場合には、SilkMeter の設定が保持されます。



注目: 現在、SilkMeter ライセンス サーバー上に存在するライセンス ポリシーを維持するには、**No** をクリックしなければなりません。

4. コンピュータを再起動します。

SilkMeter はアンインストールされ、これで、最新バージョンの SilkMeter をインストールする準備ができました。

ライセンス サーバー上へ SilkMeter をインストールする

SilkMeter をインストールする前に、次の情報を確認します。

- お使いのユーザー アカウントが管理者権限を持っていること。
- SilkMeter のインスタンスが、ライセンス サーバー上にインストールされていないこと。

1. SilkMeter 実行可能ファイル SilkMeter.exe を探し、以下に従い、順次ステップを実行していきます。

- SilkPerformer の CD をお持ちの場合、CD を挿入します。セットアップ プログラムが自動的に開始されない場合、**スタート > ファイル名を指定して実行** を選択し、<CD ドライブ>:¥SilkMeter ¥SilkMeter.exe を入力して、SilkMeter セットアップ プログラムを手動で開始します。
- ダウンロードした SilkMeter をお持ちの場合、次のステップを実行します。

1. EXE ファイルが保存された場所まで移動します。
2. EXE ファイルをダブルクリックします。

- SilkMeter をダウンロードする場合、次のステップを実行します。

1. <http://www.borland.com/downloads/servers/silkmeter/index.html> にアクセスします。
2. **SilkMeter 2008** をクリックしてから、**Save File** をクリックします。
3. このファイルを保存する場所を指定して、**保存** をクリックします。

代替方法: ブラウザから EXE ファイルをダブルクリックして、ファイルを実行します。

4. EXE ファイルが保存された場所まで移動します。
5. EXE ファイルをダブルクリックします。

SilkPerformer インストール ウィザードが開き、**著作権情報** ページが表示されます。

2. **Next** をクリックし、続行します。
セットアップが、ファイルを一時ディレクトリに抽出します。
3. **Next** をクリックし、続行します。
使用許諾契約 ページが開きます。
4. 使用権の条項を注意深くお読みください。これらの条項に同意する場合には、**Yes** をクリックし、続行します。
Enter Installation Path and Configuration Directory for SilkMeter Runtime ページが開きます。

5. **Next** をクリックして、SilkMeter をデフォルト ディレクトリにインストールし、デフォルト設定フォルダ %cfg を使用します。

Enter Host Name ページが開きます。

6. ホスト名とポートを入力、確認し、**Next** をクリックします。



注: ここでのホスト名は、SilkMeter がインストールされるコンピュータの名前です。

Select Program Folder ページが開きます。

7. **Program Folders** テキスト ボックスで、デフォルト プログラム フォルダである SilkSilkMeter をそのまま利用するか、別のプログラム フォルダを指定し、**Next** をクリックして続行します。

SilkMeter がインストールされます。完了すると、**Install SilkMeter Policy** ページが開きます。

8. 以下の手順の 1 つを実行します。

- SilkPerformer のライセンス ポリシーを既にお持ちの場合、参照 (...) をクリックして、SilkPerformer ライセンス ポリシー ファイル license.pol を保存した場所までたどっていき、**Open** をクリックします。**Finish** をクリックして、SilkPerformer ライセンス ポリシーをインストールします。
- SilkPerformer ライセンス ポリシーをまだ持っていない場合は、**Finish** をクリックします。SilkPerformer ライセンス ポリシーは、後で受け取った際にインポートすることができます。SilkPerformer ライセンス ファイルをインポートするための手順については、Online License Generator や SilkMeter Runtime Help のヘルプから確認することができます。

View Release Notes ページが開きます。

9. **Yes** をクリックして SilkMeter リリース ノートを表示させるか、**No** をクリックしてリリース ノートを表示させずにインストールを続行させます。

InstallShield Wizard Complete ページが開きます。

10 **Finish** をクリックしてインストール プロセスを完了させます。




重要: セットアップによって、コンピュータを再起動するようプロンプトが表示された場合には、必ず行うようにしてください。

SilkMeter ライセンス サーバーの構成

SilkPerformer のいずれのバージョンを実行する場合にも、SilkMeter をネットワーク内にあるコンピュータ上にインストールし、構成しなければなりません。

SilkPerformer と SilkMeter の間の通信プロセスは、次のファイルおよび変数によって設定されています。

- `SILK_CONFIG_PATH` 環境変数
- `CosLicensingService.ref` ファイル
- `CosPropertyService.ref` ファイル
- `ls_segue.ref` ファイル
- `silkmeter.cfg` ファイル


 **重要:** これらのファイルは削除しないでください。

SilkPerformer セットアップ プログラムが、**Select SilkMeter License Server** ユーティリティのテキスト ボックスに入力された値を基に、これらのオブジェクトを作成します。

ライセンス サーバーの構成を変更する

Select SilkMeter License Server ユーティリティを使用して、ライセンス サーバーの構成を変更または修復します。このユーティリティは、SilkPerformer のインストール時に一緒にインストールされ、ローカル システム内に SilkMeter ライセンス サーバーの構成ファイルがあるかどうかを確認します。フ

イルが見つければ、ライセンス サーバーの設定とタイプが表示され、ライセンス管理に利用されます。設定データが見つからない場合には、**Select SilkMeter License Server** ダイアログ ボックスにデフォルトの設定が表示されます。

1. **スタート > プログラム > Silk > SilkPerformer2011 > 管理ツール > ライセンス サーバー構成の変更** を選択します。
Select SilkMeter License Server ユーティリティが開きます。
2. **Application (アプリケーション)** リスト ボックスで、ライセンス サーバーを設定したい製品を選択します。
3. **Using local or remote server (ローカルまたはリモート サーバーを使用する)** オプション ボタンをクリックして、SilkMeter ライセンス サーバーを設定します。
4. **License Server Host (ライセンス サーバー ホスト)** テキスト ボックスに、SilkMeter ライセンス サーバーのコンピュータ名を入力します。
ネットワーク管理者が別のポートを定義したのでない限り、**Port Number (ポート番号)** は変更しないでください。
5. **Apply (適用)** をクリックして、ライセンス サーバーの構成を生成します。
6. **Test Connection (接続のテスト)** をクリックして、指定したホスト、ポート上で SilkMeter サーバーがアクセス可能かどうかを確認します。
接続が成功した場合には、**Status (ステータス)** テキスト ボックスに SUCCESS メッセージが表示されます。
 **注:** 場合により、**ライセンス サーバー ホスト** テキスト ボックスに、ライセンス サーバーの名前を licenseserver など単純な名前指定すると、動作しない場合があります。SilkMeter ライセンス サーバーとの接続に失敗しました というメッセージ ボックスが開きます。この問題を解決するには、licenseserver.mycompany.com など、完全修飾名によるホスト名を再度指定してください。
7. **Close (閉じる)** をクリックして、ライセンス サーバーの構成を完了させます。

SilkPerformer をインストールする

このセクションでは、SilkPerformer に対して利用可能なインストール オプションの概要を提供します。

SilkPerformer セットアップ プログラムを使用すると、お使いのテスト環境内にある、コントローラ コンピュータにはマルチマシン コントローラとエージェント ソフトウェアを、エージェント コンピュータにはエージェント ソフトウェアをインストールできます。 リモート エージェント コンピュータで SilkPerformer を使用する場合は、コントローラ コンピュータを少なくとも 1 つセットアップする必要があります。

インストールを開始する前に、お使いのコンピュータがインストールの事前要件を満たしているかどうか確認してください。 インストール プログラムはシステムを検査して、必要な場合には、足りないソフトウェア パッケージをインストールします。

完全インストールする

作業を開始する前に、SilkPerformer の実行可能ファイルをダウンロードするか、SilkPerformer の CD を CD ドライブに挿入します。

SilkPerformer の完全インストールでインストールされる機能は次のとおりです。

- ワークベンチ
- Visual Studio .NET Add-On (Visual Studio がインストールされている場合のみ)
- Performance Explorer
- TrueLog Explorer
- Java Explorer
- .NET Explorer
- SilkPerformer エージェント
- すべてのサンプル

1. SilkPerformer の実行可能ファイルを探し、ダブルクリックします。

SilkPerformer の CD をお持ちの場合、CD を挿入します。 セットアップ プログラムが自動的に開始されない場合、**スタート > ファイル名を指定して実行** を選択し、<CD ドライブ>:%Setup.exe を入力して、SilkPerformer セットアップ プログラムを手動で開始します。

SilkPerformer インストール ウィザードが開き、**著作権情報** ページが表示されます。

2. **次へ** をクリックして **開始画面** を読み、再度 **次へ** をクリックします。

使用許諾契約 ページが開きます。

3. 使用権の条項を注意深くお読みください。 使用許諾契約の条件に同意する場合は、**使用条件の条項に同意します** オプションを選択して、**次へ** をクリックします。

インストール セットの選択 ページが表示されます。

4. **SilkPerformer 2011** インストール セットをクリックして SilkPerformer 環境をインストールし、**次へ** をクリックします。


インストールのカスタマイズ ページが表示されます。

5. インストールするコンポーネントを選択します。

- **SilkPerformer Workbench 2011** : このオプションを選択して、負荷テスト Java アプリケーションおよび .NET アプリケーションの完全な SilkPerformer 環境をインストールします。
- **高度なインストール** : このオプションを選択して、SilkPerformer とともにインストールする任意のツールを選択します。

インストール フォルダの選択 ページが表示されます。

6. SilkPerformer のショートカット アイコンを置く場所を選択し、**次へ** をクリックします。
デフォルトのインストール ディレクトリを変更するには、以下のステップを実行します。
- 選択** をクリックします。
フォルダの参照 ダイアログ ボックスが開きます。
 - SilkPerformer をインストールするフォルダを指定し、**OK** をクリックして **インストール フォルダの選択** ページに戻ります。

 **注:** SilkPerformer は、ローカル ドライブにインストールしなければなりません。

インストール前の要約 ページが表示されます。

7. 提示された情報を確認し、以下のステップのいずれかを行います。
- 設定を変更するには、**戻る** をクリックして、適切なページに戻ります。
 - 必要な設定をし終わったら、**インストール** をクリックして、インストール処理を開始します。

インストール中 ページの進捗バーにより、インストール処理の状況が分かります。

8. 以下のオプションのいずれか 1 つをクリックし、**次へ** をクリックします。
- 評価版** - SilkPerformer の評価版をインストールすると、製品のすべての機能を 30 日間使用できます。使用は 2 SilkPerformer ユーザーに制限されています。後から、製品版へのアップグレードをご希望の場合には、営業担当までお問い合わせください。
 - 完全版** - SilkPerformer ライセンスが必要な SilkPerformer の無制限版をインストールします。
9. インストールにおいて選択したコンポーネントに応じて、**SilkMeter ライセンス サーバーの選択** ページが開く場合があります。ライセンス管理を必要とするコンポーネントをインストールしておらず、このページも開かない場合には、次のステップに進んでください。以下のオプションのいずれか 1 つをクリックし、**次へ** をクリックします。


- ローカルまたはリモート サーバーを使用する: ライセンス サーバー ホスト** テキスト ボックスに、SilkMeter がインストールされているコンピュータの名前を入力します。ネットワーク管理者が別のポートを定義したのでない限り、デフォルト ポート番号 5461 は変更しないでください。**接続のテスト** をクリックして、指定したホスト、ポート上で SilkMeter サーバーがアクセス可能かどうかを確認します。ライセンス サーバーへの接続テストは、インストール時には失敗することがあります。これは、必須システム ライブラリが、あとからソフトウェア パッケージと共にインストールされるために、その時点ではまだ利用できない場合があるからです。

 **注:** 場合により、**ライセンス サーバー ホスト** テキスト ボックスに、ライセンス サーバーの名前を licenseserver など単純な名前で指定すると、動作しない場合があります。SilkMeter ライセンス サーバーとの接続に失敗しました というメッセージ ボックスが開きます。この問題を解決するには、licenseserver.mycompany.com など、完全修飾名によるホスト名を再度指定してください。

- スタンドアロン ライセンスを使用する:** SilkMeter をスタンドアロンで実行します。**選択** ボタンを使用して、SilkMeter ライセンス ファイルの場所を指定します。

インストール完了 ページが表示されます。

- 10 **完了** をクリックしてインストールを完了させます。


 **注:** セットアップ ウィザードがインストール時にファイルの更新に失敗した場合 (例、システム ライブラリが Windows によってロックされていた場合)、またはそれ以外の理由で セットアップ ウィザードがシステムを再起動する必要があることを検出した場合、コンピュータを再起動するようにプロンプトが表示されます。この場合、コンピュータを再起動しないと、SilkPerformer へのアクセスに問題が発生する可能性があります。

エージェントのみをインストールする

作業を開始する前に、SilkPerformer の実行可能ファイルをダウンロードするか、SilkPerformer の CD を CD ドライブに挿入します。

リモート SilkPerformer エージェントとして使用する各ホストには、エージェントをインストールする必要があります。エージェントは、リモート コンピュータで SilkPerformer スクリプトを実行するために使用されます。

1. SilkPerformer の実行可能ファイルを探し、ダブルクリックします。
SilkPerformer の CD をお持ちの場合、CD を挿入します。 セットアップ プログラムが自動的に開始されない場合、**スタート > ファイル名を指定して実行** を選択し、<CD ドライブ>:¥Setup.exe を入力して、SilkPerformer セットアップ プログラムを手動で開始します。
SilkPerformer インストール ウィザードが開き、**著作権情報** ページが表示されます。
2. **次へ** をクリックして **開始画面** を読み、再度 **次へ** をクリックします。
使用許諾契約 ページが開きます。
3. 使用権の条項を注意深くお読みください。 使用許諾契約の条件に同意する場合は、**使用条件の条項に同意します** オプションを選択して、**次へ** をクリックします。
インストール セットの選択 ページが表示されます。
4. **SilkPerformer 2011 Agent** インストール セットをクリックして SilkPerformer エージェント ソフトウェアをインストールし、**次へ** をクリックします。
インストール フォルダの選択 ページが表示されます。
5. SilkPerformer のショートカット アイコンを置く場所を選択し、**次へ** をクリックします。
デフォルトのインストール ディレクトリを変更するには、以下のステップを実行します。
 - a) **選択** をクリックします。
フォルダの参照 ダイアログ ボックスが開きます。
 - b) SilkPerformer をインストールするフォルダを指定し、**OK** をクリックして **インストール フォルダの選択** ページに戻ります。


 **注:** SilkPerformer は、ローカル ドライブにインストールしなければなりません。

インストール前の要約 ページが表示されます。

6. 提示された情報を確認し、以下のステップのいずれかを行います。
 - 設定を変更するには、**戻る** をクリックして、適切なページに戻ります。
 - 必要な設定をし終わったら、**インストール** をクリックして、インストール処理を開始します。

インストール中 ページの進捗バーにより、インストール処理の状況が分かります。


7. **完了** をクリックしてインストールを完了させます。

 **注:** セットアップ ウィザードがインストール時にファイルの更新に失敗した場合 (例、システム ライブラリが Windows によってロックされていた場合)、またはそれ以外の理由で セットアップ ウィザードがシステムを再起動する必要があることを検出した場合、コンピュータを再起動するようにプロンプトが表示されます。 この場合、コンピュータを再起動しないと、SilkPerformer へのアクセスに問題が発生する可能性があります。

SilkPerformer SOA Edition をインストールする

次の機能が、SilkPerformer SOA Edition と共にインストールされます。

- SOA Workbench
- Visual Studio .NET Add-On (Visual Studio がインストールされている場合のみ)
- Performance Explorer
- TrueLog Explorer
- Java Explorer
- .NET Explorer
- Java のサンプル
- .NET のサンプル

- SilkPerformer エージェント
1. SilkPerformer の実行可能ファイルを探し、ダブルクリックします。
SilkPerformer の CD をお持ちの場合、CD を挿入します。 セットアップ プログラムが自動的に開始されない場合、**スタート > ファイル名を指定して実行** を選択し、<CD ドライブ>:¥Setup.exe を入力して、SilkPerformer セットアップ プログラムを手動で開始します。
SilkPerformer インストール ウィザードが開き、**著作権情報** ページが表示されます。
 2. **次へ** をクリックして **開始画面** を読み、再度 **次へ** をクリックします。
使用許諾契約 ページが開きます。
 3. 使用権の条項を注意深くお読みください。 使用許諾契約の条件に同意する場合は、**使用条件の条項に同意します** オプションを選択して、**次へ** をクリックします。
インストール セットの選択 ページが表示されます。
 4. **SilkPerformer 2011 SOA Edition** インストール セットをクリックして SilkPerformer SOA Edition をインストールし、**次へ** をクリックします。
インストールのカスタマイズ ページが表示されます。
 5. インストールするコンポーネントを選択します。
 - **SilkPerformer 2011 SOA Edition** : Java アプリケーションおよび .NET アプリケーションの負荷テストを行えるように SilkPerformer SOA Edition 環境をフル インストールする場合は、このオプションを選択します。
 - **高度なインストール**: Java アプリケーションの負荷テストを行うツールや .NET アプリケーションをテストするためのツールを個別にインストールする場合は、このオプションを選択します。**インストール フォルダの選択** ページが表示されます。
 6. SilkPerformer のショートカット アイコンを置く場所を選択し、**次へ** をクリックします。
デフォルトのインストール ディレクトリを変更するには、以下のステップを実行します。
 - a) **選択** をクリックします。
フォルダの参照 ダイアログ ボックスが開きます。
 - b) SilkPerformer をインストールするフォルダを指定し、**OK** をクリックして **インストール フォルダの選択** ページに戻ります。 **注**: SilkPerformer は、ローカル ドライブにインストールしなければなりません。
- インストール前の要約** ページが表示されます。
7. 提示された情報を確認し、以下のステップのいずれかを行います。
 - 設定を変更するには、**戻る** をクリックして、適切なページに戻ります。
 - 必要な設定をし終わったら、**インストール** をクリックして、インストール処理を開始します。**インストール中** ページの進捗バーにより、インストール処理の状況が分かります。
 8. 以下のオプションのいずれか 1 つをクリックし、**次へ** をクリックします。
 - **評価版** - SilkPerformer の評価版をインストールすると、製品のすべての機能を 30 日間使用できます。 使用は 2 SilkPerformer ユーザーに制限されています。 後から、製品版へのアップグレードをご希望の場合には、営業担当までお問い合わせください。
 - **完全版** - SilkPerformer ライセンスが必要な SilkPerformer の無制限版をインストールします。
 9. インストールにおいて選択したコンポーネントに応じて、**SilkMeter ライセンス サーバーの選択** ページが開く場合があります。 ライセンス管理を必要とするコンポーネントをインストールしておらず、このページも開かない場合には、次のステップに進んでください。 以下のオプションのいずれか 1 つをクリックし、**次へ** をクリックします。
 - **ローカルまたはリモート サーバーを使用する: ライセンス サーバー ホスト** テキスト ボックスに、SilkMeter がインストールされているコンピュータの名前を入力します。 ネットワーク管理者が別のポートを定義したのではない限り、デフォルト ポート番号 5461 は変更しないでください。 **接続のテスト** をクリックして、指定したホスト、ポート上で SilkMeter サーバーがアクセス可能かどうかを確認します。 ライセンス サーバーへの接続テストは、インストール時には失敗することがありま


す。これは、必須システム ライブラリが、あとからソフトウェア パッケージと共にインストールされるために、その時点ではまだ利用できない場合があるからです。

 **注:** 場合により、**ライセンス サーバー ホスト** テキスト ボックスに、ライセンス サーバーの名前を licenseserver など単純な名前指定すると、動作しない場合があります。SilkMeter ライセンス サーバーとの接続に失敗しました というメッセージ ボックスが開きます。この問題を解決するには、licenseserver.mycompany.com など、完全修飾名によるホスト名を再度指定してください。

- **スタンドアロン ライセンスを使用する:** SilkMeter をスタンドアロンで実行します。 **選択** ボタンを使用して、SilkMeter ライセンス ファイルの場所を指定します。

インストール完了 ページが表示されます。

10完了 をクリックしてインストールを完了させます。

 **注:** セットアップ ウィザードがインストール時にファイルの更新に失敗した場合 (例、システム ライブラリが Windows によってロックされていた場合)、またはそれ以外の理由で セットアップ ウィザードがシステムを再起動する必要があることを検出した場合、コンピュータを再起動するようにプロンプトが表示されます。この場合、コンピュータを再起動しないと、SilkPerformer へのアクセスに問題が発生する可能性があります。


SilkPerformer サービス パック リリースへアップグレードする

SilkPerformer のメジャーおよびマイナー リリースは同一コンピュータにインストールできます。たとえば、バージョン 2010 とバージョン 2010 R2 は同一コンピュータ上に存在できます。ただし、リリース バージョンとサービス パック リリース は同一コンピュータにインストールできません。

マイナー リリースからサービス パック リリースにアップグレードする場合は、既存のマイナー リリースを削除してから、サービス パック リリースをインストールする必要があります。

SilkPerformer サービス パック リリースにアップグレードするには、次のステップを実行します。

1. 現在インストールされている SilkPerformer を削除します。プロジェクトのディレクトリはこの手順の途中で削除されません。

 **注:** インストールした SilkPerformer エージェントも同様に削除します。

2. 新しい SilkPerformer サービス パックをインストールします。

SilkPerformer をアンインストールする

削除機能は、指定されたソフトウェア パッケージ (すべてのファイル、およびレジストリ エントリを含む) をコンピュータから削除します。

1. Windows の **プログラムの追加と削除** ウィンドウを開きます。
2. Windows によって自動的にアンインストール可能なソフトウェアの一覧から SilkPerformer2011 を右クリックします。
3. **アンインストールと変更** をクリックします。
SilkPerformer2011 インストールの変更 ウィザードが開きます。
4. **次へ** をクリックします。
機能を削除する ページが表示されます。
5. **次へ** をクリックして、アンインストールを開始します。進捗バーにより、アンインストール処理の状況が分かります。
アンインストール完了 ページが表示されます。
6. **アンインストール完了** ページに、削除できなかったアイテムの情報が表示されます。通常これらは、削除すべきでない共有ファイルです。SilkPerformer で作業したときに作成されたファイル

(SilkPerformer プロジェクトなど) も削除されません。 **完了** をクリックしてアンインストールを完了させます。

サイレントモードでインストールする

セットアッププログラムでは、ユーザーが対話的に入力しないで製品をインストールするためのオプションが用意されています。このオプションは、「サイレントモードインストール」と呼ばれており、SilkPerformer のインストールにも使用できます。この機能は特に、LAN やインターネット上で、リモートインストール ツールなどを介してソフトウェアを配布する場合などに便利です。

1. インストールパッケージをサイレントモードで実行するようカスタマイズする前に、インストール先コンピュータのハードドライブ上にあるディレクトリに、インストールファイルを準備する必要があります。SilkPerformer インストール CD からインストールパッケージを提供するには、CD の内容を、お使いのコンピュータのハードドライブ上にある空のディレクトリにコピーします。
2. ファイルをコピーしたフォルダで、ファイル silentinstall.properties ファイルを探し、テキストエディタでこれを開きます。以下のパラメータを変更できます。
 - CREATE_DESKTOP_ICON : デスクトップに SilkPerformer アイコンを作成する場合は 1、作成しない場合は 0 に設定します。
 - CREATE_QUICKLAUNCH_ICON : クイック起動バーに SilkPerformer アイコンを作成する場合は 1、作成しない場合は 0 に設定します。
 - SILKMETER_LICENSESERVER_HOST : SilkMeter ライセンス サーバーをホストするコンピュータの名前を指定します。
 - SILKMETER_LICENSESERVER_PORT : SilkMeter ライセンス サーバーがリスンするポート番号を指定します。
3. ファイル silentinstall.properties を保存します。
4. ファイル silentinstall.properties および Setup.exe が常駐するフォルダで、コマンドラインプロンプトを開き、以下のコマンドを入力します。

```
Setup.exe -f c:¥<your directory>¥silentinstall.properties
```

SilkPerformer は silentinstall.properties ファイルで定義されたオプションとともにインストールされています。

ShopIt V 6.0 をインストールする

SilkPerformer のサンプル Web アプリケーションが、ShopIt V 6.0 です。ShopIt V 6.0 は、シンプルな e コマース Web サイトをシミュレートするもので、オンライン購入のシミュレーションに使用できるショッピング用品カタログを備えています。このアプリケーションを使用すると、SilkPerformer の Web アプリケーション機能を試すことができます。ShopIt V 6.0 は、不明な Web リンク (商品の在庫切れが原因) やセッション エラーなどのエラーを生成するように作られています。

ShopIt V 6.0 セットアップは、次の場所から利用できます。

- SilkPerformer のインストール CD (¥Extras¥ShopItV60.exe)
 - ダウンロード サイト : <http://sso.borland.com/download/>
 - Web パッケージ: 抽出された Web パッケージを保存した場所で ¥Extras¥ShopItV60.exe を探してください。
1. インストール CD の ¥Extras フォルダ、またはダウンロードした場所にある、ShopItV60.exe ファイルをダブルクリックします。



注: ShopIt V 6.0 では、IIS (Internet Information Server) が ShopIt V 6.0 をインストールするコンピュータにインストールされていることが必要です。

InstallShield によるインストールの準備ができると、**Welcome** ページが開きます。

2. **Next** をクリックします。
Choose Destination Location ページが開きます。
3. デフォルトのインストールディレクトリを変更するには、**Browse** をクリックし、**Choose Folder** ダイアログ ボックスを開きます。

デフォルトのインストール先が、*Destination Folder* セクションに表示されます。

ShopIt V 6.0 をインストールするフォルダを指定して、**OK** をクリックして前のダイアログ ボックスに戻ります。

4. **Next** をクリックして、インストールプロセスを続行します。
Web アプリケーションの仮想ディレクトリの名前をエントリ フィールドに入力します。これは Web サーバー上に作成されるディレクトリの名前です。 **Next** をクリックし、続行します。
Specify Virtual Directory ダイアログ ボックスが開きます。
5. セットアップによりファイルがインストールされ、IIS で ShopIt V 6.0 Web アプリケーションが実行されるように設定されます。
完了すると、**Installation Complete** ダイアログ ボックスが開きます。
6. **Installation Complete** ダイアログ ボックスで、**Finish** をクリックします。

ShopIt V 6.0 Web アプリケーションをインストールしたコンピュータで使用する準備ができました。選択した Web ブラウザで次の URL を入力して、ShopIt V 6.0 にアクセスできます。

```
http://<computer name>/<virtual directory name>/
```

例 :

コンピュータ名が JohnSmith で、仮想ディレクトリのデフォルト値 ShopItV60 を変更していない場合、URL は次のようになります。

```
http://JohnSmith/ShopItV60/
```

あるいは、インストールしたコンピュータから ShopIt V 6.0 にアクセスする場合は、次の URL でも動作します。

```
http://localhost/ShopItV60/
```

Eclipse プラグインをインストールする


プラグインを実行するコンピュータには、Eclipse SDK および SilkPerformer がインストールされている必要があります。さらに、SilkPerformer をコンピュータで少なくとも 1 回実行しておく必要があります。

1. 標準的なプラグイン インストール手順で、Eclipse SDK (**ヘルプ** > **ソフトウェア更新**) から Eclipse プラグインをインストールします。
Eclipse にプラグインをインストールする方法について不明な点がある場合は、Eclipse のドキュメントを参照してください。
2. 追加するサイトの確認が表示されたら、SilkPerformer Extras フォルダに含まれるサイトを指定します。
Extras フォルダは SilkPerformer インストール フォルダにあります。
3. SilkPerformer Extras ディレクトリ内の Eclipse プラグイン ディレクトリ (.../Extras/ eclipseplugin/) を参照して選択します。
4. **Group items by category** チェック ボックスがオンになっていないことを確認します。
5. SilkPerformer Eclipse プラグインが一覧表示されたら、新しいローカル サイトのプラス記号をクリックして、内容を展開します。
6. プラグイン機能 (**SilkPerformer フィーチャー**) のチェック ボックスをオンにして、**インストール** をクリックします。
インストール ダイアログ ボックスが開きます。
7. **次へ** をクリックします。
インストール ダイアログ ボックスに使用許諾契約の説明が表示されます。

8. 使用許諾契約の条件に同意する場合は、**使用条件の条項に同意します** オプションを選択して、**完了** をクリックします。
9. **はい** をクリックして、Eclipse ワークベンチを再起動します。
Eclipse ワークベンチが再起動すると、Eclipse ワークベンチに SilkPerformer のメニュー エントリが表示されます。

リモートコンピュータへのエージェントソフトウェアのインストール


SilkPerformer にはコマンドライン ツールが付属していて、ユーザーの Windows ドメインまたはワークグループ内のリモート コンピュータに SilkPerformer エージェント ソフトウェアをセットアップできます。

 **重要:** Windows Server 2003 と Windows XP Professional : **Guest のみ - ローカル ユーザーが Guest として認証する** ポリシーが有効である場合、ローカル システム アカウントのユーザーに guest アカウント利用を強制されないよう、Windows 管理者にこの設定を変更するよう依頼してください。このようにしない場合は、SilkPerformer エージェント インストールに失敗します。コンピュータがワークグループに参加している場合、この **Guest のみ - ローカル ユーザーが Guest として認証する** ポリシーは、デフォルトで有効になっています。

リモートインストール

SilkPerformer コマンドライン ツールを使用すると、リモート コンピュータ上にエージェントソフトウェアをインストールできます。リモート コンピュータからエージェント ソフトウェアをアンインストールすることもできます。リモート コンピュータは、インターネット上の任意の場所に配置することができます。

リモート エージェントのセットアップ コマンドライン ツールの使用に関してヘルプが必要な場合は、パラメータを指定しないで、perfRsManager.exe ツールを呼び出します。

 **注:** コマンドライン ツールは SilkPerformer のインストール サブディレクトリから起動する必要があります。

次のような情報が表示されます。

使用方法 perfRsManager -<mode> -host <host name> {-option {values} }

-<mode>

- -i : エージェントソフトウェアをリモート コンピュータにインストールまたは再インストールします。
- -r : エージェントソフトウェアをリモート コンピュータからアンインストールします。

-host host name : リモートコンピュータのホスト名 (または IP アドレス)。

エージェントソフトウェアのインストールおよびアンインストールのためのオプション

エージェントソフトウェアをインストールまたは削除するには、次のオプションを利用します。

log ログ ファイル spRsManager_<hostname>.log を、カレント ディレクトリに書き込みます。たとえば、エージェントソフトウェアを lab15 ホストにインストールした場合、spRsManager_lab15.log ファイルが生成されます。

user Windows ドメイン ユーザーの名前。リモート アクセスでは、リモート コンピュータで適切な権限を持つユーザーを指定する必要があります。現在のユーザー名でリモート コンピュータにアクセスする場合は、このパラメータを省略します。

domain 指定されたユーザーが属する Windows ドメインの名前。ユーザーが、インストールを起動したコンピュータと同じドメインに属する場合は、このパラメータを省略します。

- pwdUser** 指定したユーザーのパスワード。パスワードが不要な場合は、このパラメータを省略できます。
- port** リモート エージェント コンピュータが応答するポートの番号。デフォルトのポート番号は 19200 です。
- ssl** リモート エージェント コンピュータとの通信に SSL を使用します。SSL を使用する場合、リモート エージェント コンピュータとは、セキュアな接続のためのデフォルト ポート (ポート 19201) で通信します。エージェント コンピュータがそれとは別のポートに応答する場合は、そのポート番号を `-port` パラメータで指定する必要があります。
- httpProxy** リモート コンピュータとの通信に利用される HTTP プロキシの名前とポート番号。次の構文を使用します: `-httpProxy <host name> <port number>`。
- socksProxy** リモート コンピュータとの通信に利用される SOCKS プロキシの名前とポート番号。次の構文を使用します: `-socksProxy <host name> <port number>`。
- pwdService** リモート コンピュータ上のエージェント ソフトウェアを許可のないアクセスから保護するためのパスワード。

例

```
perfRsManager -i -host deepblue -log -domain intra
                -user nobody -pwdUser 1234

perfRsManager -i -host deepblue -user alex -domain test
                -pwdUser 1234

perfRsManager -i -host 192.168.20.11

perfRsManager -i -host deepblue -log -ssl -port 19251
                -socksproxy 192.168.20.111 1080
                -pwdService 1rt34xy

perfRsManager -r -host deepblue -httpproxy proxy1 8080 -log
```

平均インストール時間

次の表では、特定のモデム タイプごとにリモート エージェントのセットアップにかかるおおよその時間を示しています。

モデムのタイプ	セットアップ時間
56 kbps	37 分
64 kbps	34 分
128 kbps	16 分
256 kbps	8 分
512 kbps	4 分

シナリオ

このセクションでは、さまざまなネットワーク環境において、リモート エージェントのセットアップを利用して、SilkPerformer エージェント ソフトウェアをリモート コンピュータへインストール、再インストール、およびアンインストールする方法について説明します。

- シナリオ 1: コントローラとエージェント コンピュータが同一の Windows ドメインまたはワークグループにある。
- シナリオ 2: コントローラとエージェント コンピュータが別の Windows ドメインまたはワークグループにある。
- シナリオ 3: コントローラ コンピュータを管理するユーザーはローカルにログオンし、それゆえ、ドメインにはログオンしない。
- シナリオ 4: 別の LAN にあるコントローラとエージェント コンピュータがインターネットを利用して接続されている。
- シナリオ 5: 別の LAN にあるコントローラとエージェント コンピュータがインターネットを利用して接続されている。少なくとも、一方の LAN はファイアウォールで保護されており、コントローラとエージェント コンピュータは HTTP プロキシ経由で通信する必要がある。
- シナリオ 6: 別の LAN にあるコントローラとエージェント コンピュータがインターネットを利用して接続されている。少なくとも、一方の LAN はファイアウォールで保護されており、コントローラとエージェント コンピュータは SOCKS プロキシ経由で通信する必要がある。

シナリオ 1: 1 つのドメインまたはワークグループ

シナリオ 1 では、コントローラとエージェント コンピュータが同一の Windows ドメインまたはワークグループにあります。

コントローラ コンピュータから、リモート エージェント コンピュータ (<agent name>) 上の SilkPerformer エージェント ソフトウェアをインストール、再インストール、またはアンインストールできます。

エージェント ソフトウェアをインストールするには、次のコマンドを実行します。

```
PerfRsManager -i -host <agent name> -log
```

このコマンドによりリモート コンピュータから設定や再起動ができるようにエージェント コンピュータをセットアップします。

エージェント ソフトウェアを再インストールもしくは削除するには、エージェント ソフトウェアが応答するポート (<port number>) を知っておく必要があります。デフォルトでは、エージェントはポート 19200 を使用します。エージェント ソフトウェアを許可のないアクセスから保護するために、パスワードを使っている場合には、それも知っておかなければなりません (<password>)。

エージェント ソフトウェアをアップグレードするには、次のコマンドを実行します。

```
PerfRsManager -i -host <agent name> -port <port number>
-pwdService <password> -log
```

エージェント ソフトウェアがデフォルト ポートで応答する場合には、-port パラメータを省略できます。

前述のコマンドは、インストールまたはアンインストール プロセスに関する詳細情報を含むログ ファイルを生成します。これらのログ ファイルを生成しない場合は、-log パラメータを省略します。

シナリオ 2: 2 つのドメインまたはワークグループ

シナリオ 2 では、コントローラとエージェント コンピュータが別の Windows ドメインまたはワークグループにあります。

コントローラ コンピュータから、リモート ドメインまたはワークグループ (<domain name>) にあるエージェント コンピュータ (<agent name>) 上の SilkPerformer エージェント ソフトウェアをインストール、再インストール、およびアンインストールできます。エージェント ソフトウェアをインストールするには、エージェント コンピュータがあるドメインまたはワークグループにおいて管理者権限のあるユーザー (とそのパスワード) を指定する必要があります (<user name>、<password>)。

エージェント ソフトウェアをインストールするには、次のコマンドを実行します。

```
PerfRsManager -i -host <agent name> -user <user name>
-domain <domain name> -log
```

このコマンドによりリモート コンピュータから設定や再起動ができるようにエージェント コンピュータをセットアップします。

エージェント ソフトウェアを再インストールもしくは削除するには、エージェント ソフトウェアが応答するポート (<port number>) を知っておく必要があります。デフォルトでは、エージェントはポート 19200 を使用します。エージェント ソフトウェアを許可のないアクセスから保護するために、パスワードを使っている場合には、それも知っておかなければなりません (<password>)。

エージェント ソフトウェアを再インストールするには、次のコマンドを実行します。

```
PerfRsManager -i -host <agent name> -port <port number>
                -pwdService <password> -log
```



注:

エージェント ソフトウェアがデフォルト ポートで応答する場合には、-port パラメータを省略できます。

コンピュータからエージェント ソフトウェアをアンインストールするには、次のコマンドを実行します。

```
PerfRsManager -r -host <agent name> -port <port number>
                -pwdService <password> -log
```

エージェント ソフトウェアがデフォルト ポートで応答する場合には、-port パラメータを省略できます。

前述のコマンドは、インストールまたはアンインストール プロセスに関する詳細情報を含むログ ファイルを生成します。これらのログ ファイルを生成しない場合は、-log パラメータを省略します。

シナリオ 3 : ユーザーがローカルにログオンする

シナリオ 3 では、ユーザーは、コントローラ コンピュータにローカルでログオンし、ドメインにはログオンしません。

コントローラ コンピュータから、リモート ドメインまたはワークグループ (<domain name>) にあるエージェント コンピュータ (<agent name>) 上の SilkPerformer エージェント ソフトウェアをインストール、再インストール、およびアンインストールできます。エージェント ソフトウェアをインストールするには、エージェント コンピュータがあるドメインまたはワークグループにおいて管理者権限のあるユーザー (user name) と、そのパスワード (password) を指定する必要があります。

エージェント ソフトウェアをインストールまたは再インストールするには、次のコマンドを実行します。

```
PerfRsManager -i -host <agent name> -user <user name>
                -domain <domain name> -log
```

このコマンドによりリモート コンピュータから設定や再起動ができるようにエージェント コンピュータをセットアップします。

エージェント ソフトウェアを再インストールもしくは削除するには、エージェント ソフトウェアが応答するポート (<port number>) を知っておく必要があります。デフォルトでは、エージェントはポート 19200 を使用します。エージェント ソフトウェアを許可のないアクセスから保護するために、パスワードを使っている場合には、それも知っておかなければなりません (<password>)。

エージェント ソフトウェアをアンインストールするには、次のコマンドを実行します。

```
PerfRsManager -r -host <agent name> -port <port number>
                -pwdService <password> -log
```

エージェント ソフトウェアがデフォルト ポートで応答する場合には、-port パラメータを省略できます。

前述のコマンドは、インストールまたはアンインストール プロセスに関する詳細情報を含むログ ファイルを生成します。これらのログ ファイルを生成しない場合は、-log パラメータを省略します。

シナリオ 4 : インターネットを利用して接続された 2 つの LAN

シナリオ 4 では、別の LAN にあるコントローラとエージェント コンピュータがインターネットに接続されています。

コントローラ コンピュータから、リモート エージェント コンピュータ (<agent name>) 上の SilkPerformer エージェント ソフトウェアをインストールまたはアンインストールできます。

エージェント ソフトウェアが応答するポート (<port number>) を知っておく必要があります。デフォルトでは、エージェントは、非セキュア通信にポート 19200、セキュア通信にポート 19201 を使用します。エージェント ソフトウェアを許可のないアクセスから保護するために、パスワードを使っている場合には、それを知っておかなければなりません (<password>)。

エージェント ソフトウェアをインストールまたは再インストールするには、次のコマンドを実行します。

```
PerfRsManager -i -host <agent name> -port <port number>
                -pwdService <password> -ssl -log
```

エージェント ソフトウェアをアンインストールするには、次のコマンドを実行します。

```
PerfRsManager -r -host <agent name> -port <port number>
                -pwdService <password> -ssl -log
```

エージェント ソフトウェアがデフォルト ポートで応答する場合には、-port パラメータを省略できます。さらに、セキュア通信チャネルでの通信を必要としない場合には、-ssl パラメータを省略します。

前述のコマンドは、インストールまたはアンインストール プロセスに関する詳細情報を含むログ ファイルを生成します。これらのログ ファイルを生成しない場合には、-log パラメータを省略します。

シナリオ 5 : HTTP プロキシを利用して接続された 2 つの LAN

シナリオ 5 では、別の LAN にあるコントローラとエージェント コンピュータがインターネットに接続されています。少なくとも、一方の LAN はファイアウォールで保護されており、コントローラとエージェント コンピュータは HTTP プロキシ経由で通信する必要があります。

コントローラ コンピュータから、リモート エージェント コンピュータ (<agent name>) 上の SilkPerformer エージェント ソフトウェアをインストールまたはアンインストールできます。通信は、HTTP プロキシ経由で行われます (<proxy name>、<proxy port>)。エージェント ソフトウェアを再インストールもしくは削除するには、エージェント ソフトウェアが応答するポート (<agent port>) を知っておく必要があります。デフォルトでは、エージェントは、非セキュア通信にポート 19200、セキュア通信にポート 19201 を使用します。エージェント ソフトウェアを許可のないアクセスから保護するために、パスワードを使っている場合には、それを知っておかなければなりません (<password>)。

エージェント ソフトウェアをインストールまたは再インストールするには、次のコマンドを実行します。

```
PerfRsManager -i -host <agent name> -port <agent port>
                -pwdService <password> -ssl -log
                -httpProxy <proxy name> <proxy port>
```

エージェント ソフトウェアをアンインストールするには、次のコマンドを実行します。

```
PerfRsManager -r -host <agent name> -port <agent port>
                -pwdService <password> -ssl -log
                -httpProxy <proxy name> <proxy port>
```

エージェント ソフトウェアがデフォルト ポートで応答する場合には、-port パラメータを省略できます。さらに、セキュア通信チャネルでの通信を必要としない場合には、-ssl パラメータを省略します。

前述のコマンドは、インストールまたはアンインストール プロセスに関する詳細情報を含むログ ファイルを生成します。これらのログ ファイルを生成しない場合は、-log パラメータを省略します。

シナリオ 6 : SOCKS プロキシを利用して接続された 2 つの LAN

シナリオ 6 では、別の LAN にあるコントローラとエージェント コンピュータがインターネットに接続されています。少なくとも、一方の LAN はファイアウォールで保護されており、コントローラとエージェント コンピュータは SOCKS プロキシ経由で通信する必要があります。

コントローラ コンピュータから、リモート エージェント コンピュータ (<agent name>) 上の SilkPerformer エージェント ソフトウェアをインストールまたはアンインストールできます。通信は、SOCKS プロキシ経由で行われます (<proxy name>、<proxy port>)。エージェント ソフトウェアを再インストールもしくは削除するには、エージェント ソフトウェアが応答するポート (<agent port>) を知っておく必要があります。デフォルトでは、エージェントは、非セキュア通信にポート 19200、セキュア通信にポート 19201 を使用します。エージェント ソフトウェアを許可のないアクセスから保護するために、パスワードを使っている場合には、それも知っておかなければなりません (<password>)。

エージェント ソフトウェアをインストールまたは再インストールするには、次のコマンドを実行します。

```
PerfRsManager -u -host <agent name> -port <agent port>
                -pwdService <password> -ssl -log
                -socksProxy <proxy name> <proxy port>
```

エージェント ソフトウェアをアンインストールするには、次のコマンドを実行します。

```
PerfRsManager -r -host <agent name> -port <agent port>
                -pwdService <password> -ssl -log
                -socksProxy <proxy name> <proxy port>
```

エージェント ソフトウェアがデフォルト ポートで応答する場合には、-port パラメータを省略できます。さらに、セキュア通信チャネルでの通信を必要としない場合には、-ssl パラメータを省略します。

前述のコマンドは、インストールまたはアンインストール プロセスに関する詳細情報を含むログ ファイルを生成します。これらのログ ファイルを生成しない場合は、-log パラメータを省略します。

トラブルシューティング

このセクションでは、リモート エージェントのセットアップ中に表示される可能性があるエラー メッセージと、その解決 (回避) 方法のリストを示します。

エラー名	説明 / 解決方法
PerfORB: 23	接続を確立できませんでした。可能性のある理由： <ul style="list-style-type: none">リモート コンピュータの SilkPerformer エージェント サービスが実行されていません。正しくないポート番号を指定している可能性があります。 解決策: リモート コンピュータの SilkPerformer エージェント サービスを起動します。
PerfORB : 29	ORB はダウンしています。接続が不明な理由で切断されました。 解決策: リモート エージェントのセットアップを再実行します。
Remote Setup: 4	リモート コンピュータで新しいバージョンの SilkPerformer が検出されました。

エラー名	説明 / 解決方法
Remote Setup: 5	<p>解決策: 前のバージョンの SilkPerformer をインストールしないでください。</p> <p>リモート コンピュータに SilkPerformer エージェントソフトウェアが既に存在します。 SilkPerformer 4.0 (以上) がリモート コンピュータに存在しない場合にのみ、エージェントソフトウェアをインストールできます。</p>
Remote Setup: 6	<p>解決策: リモート コンピュータにエージェントソフトウェアをインストールするのではなく、アップグレードします。</p> <p>リモート コンピュータに SilkPerformer コントローラソフトウェアが既に存在します。 SilkPerformer 4.0 (以上) がリモート コンピュータに存在しない場合にのみ、エージェントソフトウェアをインストールできます。</p>
System: 32	<p>解決策: リモート コンピュータにエージェントソフトウェアをインストールするのではなく、アップグレードします。</p> <p>ファイルが別のアプリケーションで使用されているため、リモート エージェントのセットアップが特定のファイルにアクセスできません。</p> <p>解決策:</p> <ul style="list-style-type: none"> • ファイルがアクセスしているアプリケーションを終了して、リモート エージェントのセットアップを実行します。 • ファイルがシステム プロセスによりロックされている場合は、コンピュータを再起動してからリモート エージェントのセットアップを再び実行します。
System: 53	<p>ネットワークパスが見つかりませんでした。 リモートコンピュータでレジストリ サービスが実行されていない可能性があります。</p> <p>解決策: リモート コンピュータのレジストリ サービスを起動します。</p>
System: 1219	<p>入力した認証情報が、既存の認証情報セットと競合しています。 対象コンピュータへのネットワーク接続が既に存在しています。 この接続は異なるユーザーとパスワードの組み合わせで確立されました。</p> <p>解決策: 次の DOS コマンドを実行して接続を切断します。 net use ¥¥<machine name> /delete</p> <p>接続が実際に切断されたかどうかを確認するには、次の DOS コマンドを実行します: net use</p>
System: 10054	<p>既存の接続がリモート コンピュータにより切断されました。 56 kbps より遅いモデムを使用しているときは、タイムアウトが発生した可能性があります。</p>

索引

C

CD インストール 7

E

Eclipse プラグイン
インストールする 18

H

HTTP プロキシ
インストールのシナリオ 24

S

ShopIt サンプル Web アプリケーション 17

SilkMeter
アンインストール 9
インストール 8
構成の変更 10
接続のテスト 10
ライセンス サーバーのインストール 9
ライセンス サーバーの変更 10

SilkPerformer
エージェントのみのインストール 13

SOA Edition
インストール 14

SOCKS プロキシ
インストールのシナリオ 25

W

Windows インストーラ サービス 16

あ

アップグレード
サービスパックへのアップグレード 16

アンインストール
SilkMeter 9
エージェント ソフトウェア 20

い

インストール
ShopIt サンプル Web アプリケーション 17
SilkPerformer 12
SOA Edition 14
アンインストール 16
エージェント ソフトウェアのトラブルシューティング
25
概要 4, 12
サイレントモード 17
パッケージの内容 7
リモート エージェント セットアップの平均時間 21
インストールした機能の削除 16

インストールする
エージェント ソフトウェア 20

え

エージェント ソフトウェア
1 つのドメインまたはワークグループ経由のインストール 22
2 つのドメインまたはワークグループ経由のインストール 22
HTTP プロキシ経由のインストール 24
SOCKS プロキシ経由のインストール 25
インストール環境のシナリオ 21
インストールするまたはアンインストールする 20
インターネット経由のインストール 24
リモート コンピュータへのインストール 20
ローカル インストール 23
エージェントのみのインストール
SilkPerformer 13
平均インストール時間 21

か

概要
SilkPerformer のインストール 12
はじめに 4
仮想ユーザー
最大数 5

さ

サービスパックへのアップグレード 16
サイレントモード
インストール 17

と

トラブルシューティング 25

は

パフォーマンス
スケーラビリティ 5

ふ

フル インストール
インストール 4, 7, 12, 14, 16, 17, 21, 25

ほ

ホスト ID 8

5

ライセンス管理
概要 8
接続のテスト 10

ポリシーの生成 8
ライセンス サーバー
構成の変更 10
要件 8
ライセンス ポリシーの生成 8